

通貨選択型アメリカン・ エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第78期(決算日 2022年1月17日)
第79期(決算日 2022年2月17日)
第80期(決算日 2022年3月17日)
第81期(決算日 2022年4月18日)
第82期(決算日 2022年5月17日)
第83期(決算日 2022年6月17日)

(作成対象期間 2021年12月18日～2022年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年6月26日～2025年6月17日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比率	投資 信託 証券 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込	み 金	期騰 落			
	円	円			%	%	百万円
54期末（2020年1月17日）	3,870	80		0.4	—	97.7	979
55期末（2020年2月17日）	3,672	80	△	3.0	—	98.0	923
56期末（2020年3月17日）	1,909	80	△	45.8	—	99.2	473
57期末（2020年4月17日）	1,953	80		6.5	—	96.6	511
58期末（2020年5月18日）	1,728	40	△	9.5	—	97.2	474
59期末（2020年6月17日）	1,973	40		16.5	—	99.1	541
60期末（2020年7月17日）	1,897	40	△	1.8	—	97.5	522
61期末（2020年8月17日）	1,913	40		3.0	—	98.6	531
62期末（2020年9月17日）	1,905	40		1.7	—	98.9	529
63期末（2020年10月19日）	1,796	40	△	3.6	—	98.3	502
64期末（2020年11月17日）	1,910	40		8.6	—	98.8	528
65期末（2020年12月17日）	1,977	40		5.6	—	98.4	543
66期末（2021年1月18日）	1,972	40		1.8	—	98.5	540
67期末（2021年2月17日）	1,989	30		2.4	—	97.9	543
68期末（2021年3月17日）	2,095	30		6.8	—	98.6	543
69期末（2021年4月19日）	2,138	30		3.5	—	98.6	542
70期末（2021年5月17日）	2,270	30		7.6	—	98.3	571
71期末（2021年6月17日）	2,296	30		2.5	—	98.7	575
72期末（2021年7月19日）	2,195	30	△	3.1	—	98.4	546
73期末（2021年8月17日）	2,168	30		0.1	—	98.4	530
74期末（2021年9月17日）	2,145	30		0.3	—	98.4	517
75期末（2021年10月18日）	2,185	30		3.3	—	98.5	524
76期末（2021年11月17日）	2,218	30		2.9	—	98.9	525
77期末（2021年12月17日）	2,127	30	△	2.8	—	97.8	506
78期末（2022年1月17日）	2,230	30		6.3	—	98.5	521
79期末（2022年2月17日）	2,305	30		4.7	—	98.3	533
80期末（2022年3月17日）	2,379	30		4.5	—	99.1	547
81期末（2022年4月18日）	2,628	30		11.7	—	98.6	595
82期末（2022年5月17日）	2,448	30	△	5.7	—	99.1	551
83期末（2022年6月17日）	2,364	30	△	2.2	—	98.4	527

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

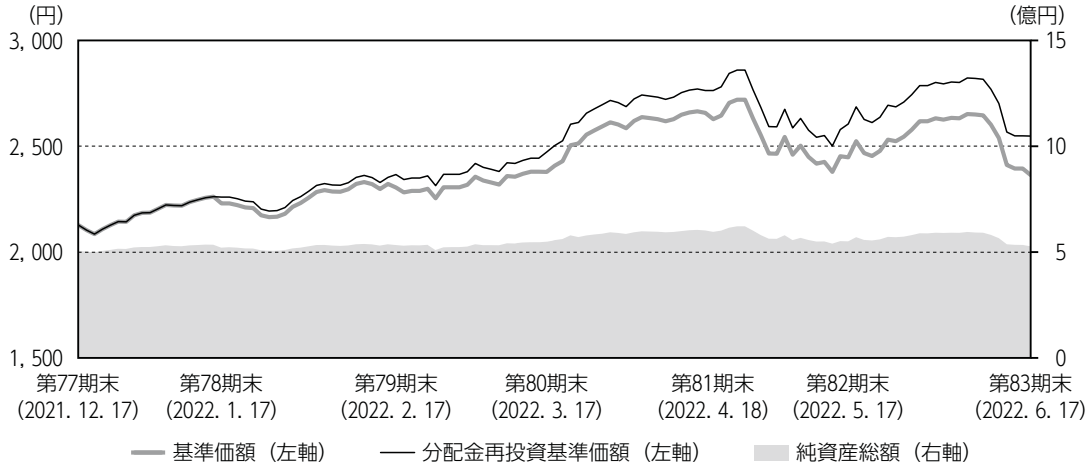
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第78期首：2,127円

第83期末：2,364円（既払分配金180円）

騰落率：19.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うと

もに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・リアル）のカバードコール戦略を構築した結果、株式が下落したことはマイナス要因でしたが、ブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことや、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引については、株式のオプションはプラス要因となりましたが、通貨のオプションはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第78期	(期 首) 2021年12月17日	2,127	—	—	97.8
	12月末	2,186	2.8	—	98.5
	(期 末) 2022年1月17日	2,260	6.3	—	98.5
第79期	(期 首) 2022年1月17日	2,230	—	—	98.5
	1月末	2,232	0.1	—	98.7
	(期 末) 2022年2月17日	2,335	4.7	—	98.3
第80期	(期 首) 2022年2月17日	2,305	—	—	98.3
	2月末	2,306	0.0	—	98.4
	(期 末) 2022年3月17日	2,409	4.5	—	99.1
第81期	(期 首) 2022年3月17日	2,379	—	—	99.1
	3月末	2,603	9.4	—	98.7
	(期 末) 2022年4月18日	2,658	11.7	—	98.6
第82期	(期 首) 2022年4月18日	2,628	—	—	98.6
	4月末	2,465	△ 6.2	—	97.7
	(期 末) 2022年5月17日	2,478	△ 5.7	—	99.1
第83期	(期 首) 2022年5月17日	2,448	—	—	99.1
	5月末	2,618	6.9	—	99.4
	(期 末) 2022年6月17日	2,394	△ 2.2	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 12. 18 ~ 2022. 6. 17)

■ 米国株式市況

i シェアーズ好配当株式 E T F（配当再投資）は米ドルベースで下落しました。

米国株式市況は、当作成期の前半は、ウクライナ情勢の不透明感や米国のインフレ動向が意識された一方で、米国金利の上昇から割安株に対して買いの動きが強まるなど、方向感のない値動きとなりました。期の後半は、引き続きウクライナ情勢の緊迫化が相場の重しとなる中、米国でインフレ圧力の高まりから金融引き締め加速懸念が強まったことで、下落しました。

■ 為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

当作成期の前半は、ブラジル中央銀行による政策金利の引き上げや堅調な商品市況が材料視され、ブラジル・リアルは対円で上昇しました。期の後半は、堅調な商品市況に加えて、日本では金融緩和政策の維持が決定されたことで、円が海外通貨に対して弱含む中、リアルは対円でさらに上昇しました。

■ 短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%から1.50~1.75%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は、政策金利を合計4.00ポイント引き上げ、13.25%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 12. 18 ~ 2022. 6. 17）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式に投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2021年12月18日 ～2022年1月17日	2022年1月18日 ～2022年2月17日	2022年2月18日 ～2022年3月17日	2022年3月18日 ～2022年4月18日	2022年4月19日 ～2022年5月17日	2022年5月18日 ～2022年6月17日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.33	1.28	1.25	1.13	1.21	1.25
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,635	4,655	4,667	4,707	4,727	4,759

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 46.03円	✓ 49.24円	✓ 41.05円	✓ 70.32円	✓ 48.91円	✓ 61.51円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,360.12	4,363.60	4,372.31	4,380.30	4,389.58	4,394.10
(d) 分配準備積立金	259.57	272.41	283.69	287.35	318.75	333.46
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,665.73	4,685.26	4,697.05	4,737.99	4,757.25	4,789.09
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,635.73	4,655.26	4,667.05	4,707.99	4,727.25	4,759.09

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2021. 12. 18～2022. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	15円	0. 613%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 2, 405円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(9)	(0. 383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 049	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投 資 信 託 受 益 証 券）	(1)	(0. 049)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用）	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	16	0. 665	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

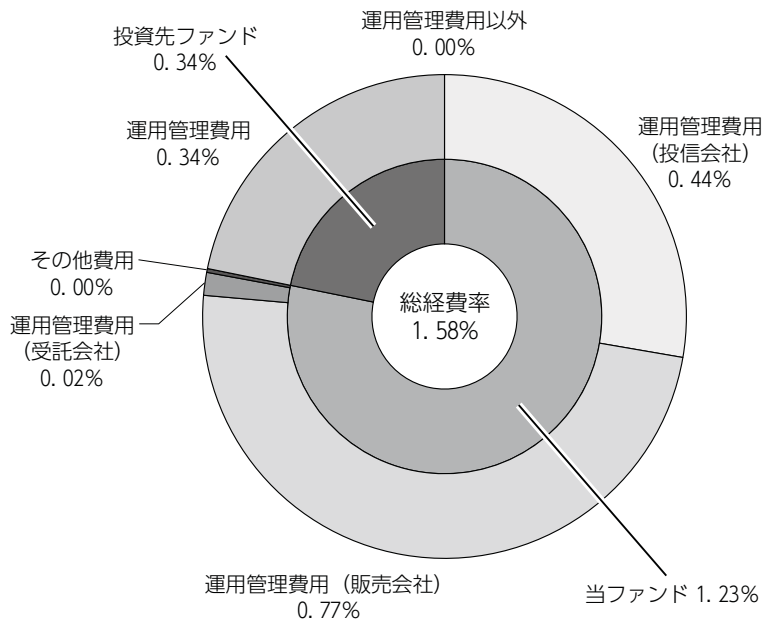
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.58%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2021年12月18日から2022年6月17日まで)

決算期	第 78 期 ~ 第 83 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	8,181.10642	90,168	8,471.76248	92,721

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2021年12月18日から2022年6月17日まで)

第 78 期 ~ 第 83 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	1,426.57386	15,000	10	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	8,471.76248	92,721	10

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 83 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	48,671.8726	518,452	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 77 期 末		第 83 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年6月17日現在

項 目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	518,452	96.9
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	16,243	3.1
投資信託財産総額	534,855	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年1月17日)、(2022年2月17日)、(2022年3月17日)、(2022年4月18日)、(2022年5月17日)、(2022年6月17日) 現在

項目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
(A) 資産	544,352,965円	542,254,963円	555,506,530円	605,044,617円	563,511,949円	534,855,855円
コール・ローン等	16,780,594	17,781,312	12,786,408	17,907,272	17,086,614	16,243,610
投資信託受益証券 (評価額)	513,454,896	524,314,176	542,560,663	586,977,886	546,265,876	518,452,786
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (評価額)	159,475	159,475	159,459	159,459	159,459	159,459
未収入金	13,958,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	23,142,076	8,727,968	7,749,464	9,530,745	12,469,198	7,748,619
未払金	6,979,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	7,011,167	6,944,457	6,908,656	6,799,332	6,752,812	6,687,835
未払解約金	8,600,083	1,224,318	325,303	2,082,234	5,132,287	435,386
未払信託報酬	548,186	551,890	504,849	634,311	565,476	602,773
その他未払費用	3,640	7,303	10,656	14,868	18,623	22,625
(C) 純資産総額 (A - B)	521,210,889	533,526,995	547,757,066	595,513,872	551,042,751	527,107,236
元本	2,337,055,977	2,314,819,029	2,302,885,460	2,266,444,179	2,250,937,479	2,229,278,455
次期繰越損益金	△ 1,815,845,088	△ 1,781,292,034	△ 1,755,128,394	△ 1,670,930,307	△ 1,699,894,728	△ 1,702,171,219
(D) 受益権総口数	2,337,055,977口	2,314,819,029口	2,302,885,460口	2,266,444,179口	2,250,937,479口	2,229,278,455口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,230円	2,305円	2,379円	2,628円	2,448円	2,364円

* 当作成期首における元本額は2,379,505,649円、当作成期間 (第78期~第83期) 中における追加設定元本額は276,549,383円、同解約元本額は426,776,577円です。

* 第83期末の計算口数当りの純資産額は2,364円です。

* 第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,702,171,219円です。

■損益の状況

第78期 自2021年12月18日 至2022年1月17日 第80期 自2022年2月18日 至2022年3月17日 第82期 自2022年4月19日 至2022年5月17日
 第79期 自2022年1月18日 至2022年2月17日 第81期 自2022年3月18日 至2022年4月18日 第83期 自2022年5月18日 至2022年6月17日

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(A) 配当等収益	10,949,620円	11,662,562円	9,655,859円	16,103,259円	11,578,664円	14,320,498円
受取配当金	10,949,883	11,662,749	9,655,986	16,103,320	11,578,815	14,320,682
受取利息	—	—	1	—	1	—
支払利息	△ 263	△ 187	△ 128	△ 61	△ 152	△ 184
(B) 有価証券売買損益	20,757,322	13,021,547	14,632,119	46,761,970	44,353,196	25,853,137
売買益	21,211,395	13,067,557	14,640,781	48,104,380	1,069,907	416,517
売買損	△ 454,073	△ 46,010	△ 8,662	△ 1,342,410	△ 45,423,103	△ 26,269,654
(C) 信託報酬等	△ 551,826	△ 555,553	△ 508,202	△ 638,523	△ 569,231	△ 606,775
(D) 当期損益金 (A + B + C)	31,155,116	24,128,556	23,779,776	62,226,706	33,343,763	12,139,414
(E) 前期繰越損益金	△ 612,228,590	△ 575,724,080	△ 540,481,234	△ 502,399,576	△ 431,827,912	△ 461,568,645
(F) 追加信託差損益金	△ 1,227,760,447	△ 1,222,752,053	△ 1,231,518,280	△ 1,223,958,105	△ 1,227,970,241	△ 1,221,775,325
(配当等相当額)	(1,018,985,907)	(1,010,095,125)	(1,006,894,321)	(992,772,782)	(988,069,007)	(979,569,106)
(売買損益相当額)	(△ 2,246,746,354)	(△ 2,232,847,178)	(△ 2,238,412,601)	(△ 2,216,730,887)	(△ 2,216,039,248)	(△ 2,201,344,431)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,808,833,921	△ 1,774,347,577	△ 1,748,219,738	△ 1,664,130,975	△ 1,693,141,916	△ 1,695,483,384
(H) 収益分配金	△ 7,011,167	△ 6,944,457	△ 6,908,656	△ 6,799,332	△ 6,752,812	△ 6,687,835
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,815,845,088	△ 1,781,292,034	△ 1,755,128,394	△ 1,670,930,307	△ 1,699,894,728	△ 1,702,171,219
追加信託差損益金	△ 1,227,760,447	△ 1,222,752,053	△ 1,231,518,280	△ 1,223,958,105	△ 1,227,970,241	△ 1,221,775,325
(配当等相当額)	(1,018,985,907)	(1,010,095,125)	(1,006,894,321)	(992,772,782)	(988,069,007)	(979,569,106)
(売買損益相当額)	(△ 2,246,746,354)	(△ 2,232,847,178)	(△ 2,238,412,601)	(△ 2,216,730,887)	(△ 2,216,039,248)	(△ 2,201,344,431)
分配準備積立金	64,412,050	67,513,823	67,876,103	74,266,897	76,007,210	81,365,207
繰越損益金	△ 652,496,691	△ 626,053,804	△ 591,486,217	△ 521,239,099	△ 547,931,697	△ 561,761,101

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,759,073円	11,400,063円	9,453,798円	15,939,669円	11,009,433円	13,713,723円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,018,985,907	1,010,095,125	1,006,894,321	992,772,782	988,069,007	979,569,106
(d) 分配準備積立金	60,664,144	63,058,217	65,330,961	65,126,560	71,750,589	74,339,319
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,090,409,124	1,084,553,405	1,081,679,080	1,073,839,011	1,070,829,029	1,067,622,148
(f) 分配金	7,011,167	6,944,457	6,908,656	6,799,332	6,752,812	6,687,835
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,083,397,957	1,077,608,948	1,074,770,424	1,067,039,679	1,064,076,217	1,060,934,313
(h) 受益権総口数	2,337,055,977口	2,314,819,029口	2,302,885,460口	2,266,444,179口	2,250,937,479口	2,229,278,455口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）に投資しております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements から抜粋し、大和アセットマネジメントが編集および一部翻訳したものです。

（円建て）

財政状態計算書

2021年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）

¥ 498,191,844

資産合計

498,191,844

負債

負債合計

¥ —

資本（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

¥ 498,191,844

包括利益計算書

2021年9月30日に終了した年度

収益

金融商品の公正価値での純損益

手数料収入	¥	170,266,460
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による実現損益		(73,440,949)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の変動		114,343,613
収益合計		<u>211,169,124</u>

費用

報酬代行会社報酬		1,861,035
費用合計		<u>1,861,035</u>

営業損益

209,308,089

包括損益合計

(運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増(減))

¥ 209,308,089

2021年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U.S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2027年12月31日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	3,071,695,585 円
評価額	498,191,844 円
評価損益	(2,573,503,741) 円

(注) 担保付スワップ取引を通じて、上場外国投資信託証券に投資し実質的に米国の高配当株へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第83期の決算日（2022年6月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年12月18日～2022年6月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年6月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

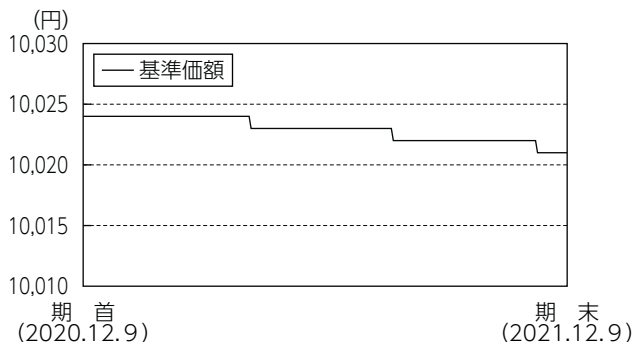
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2020年12月9日	円	%	%
	10,024	-	-
12月末	10,024	0.0	-
2021年1月末	10,024	0.0	-
2月末	10,024	0.0	-
3月末	10,024	0.0	-
4月末	10,023	△0.0	-
5月末	10,023	△0.0	-
6月末	10,023	△0.0	-
7月末	10,023	△0.0	-
8月末	10,022	△0.0	-
9月末	10,022	△0.0	-
10月末	10,022	△0.0	-
11月末	10,021	△0.0	-
(期末)2021年12月9日	10,021	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,024円 期末：10,021円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	95,139,414	100.0
投資信託財産総額	95,139,414	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	95,139,414,225円
コール・ローン等	95,139,414,225
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	95,139,414,225
元本	94,938,109,576
次期繰越損益金	201,304,649
(D) 受益権総口数	94,938,109,576口
1万口当り基準価額(C/D)	10,021円

*期首における元本額は73,320,433,569円、当作成期間中における追加設定元本額は101,534,469,895円、同解約元本額は79,916,793,888円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・フルファンド (適格機関投資家専用)	1,781,662,390円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,727,670,751円
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOF s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	1,135,439,591円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	12,595,101円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	504,894,014円
ダイワ/パリュール・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エグイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	907,909,838円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+プラスベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHL ターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,871,272,012円
ダイワユーロベア・ファンド2 (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用)	66,013,931,447円
ダイワユーロベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用)	678,845,270円
ダイワ米ドルベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用)	1,316,281,503円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	3,981,542,385円
ダイワ/ロジャース国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USTライアングル -	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 -	173,802円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,021円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,899,045円
受取利息	657,510
支払利息	△ 29,556,555
(B) その他費用	△ 218,657
(C) 当期損益金(A+B)	△ 29,117,702
(D) 前期繰越損益金	178,846,436
(E) 解約差損益金	△186,978,215
(F) 追加信託差損益金	238,554,130
(G) 合計(C+D+E+F)	201,304,649
次期繰越損益金(G)	201,304,649

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。